



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年10月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社セイヒョー

コード番号 2872

URL <http://www.seihyo.co.jp/>

代表者 (役職名)代表取締役社長

(氏名)飯塚 周一

問合せ先責任者 (役職名)管理部 課長

(氏名)田畑 大吾

(TEL) (025)386-9988

四半期報告書提出予定日 平成26年10月15日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の業績(平成26年3月1日~平成26年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	2,330	△5.0	33	△38.4	44	△35.0	34	△15.2
26年2月期第2四半期	2,453	2.2	53	△20.2	68	△20.9	40	△43.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	8 38	— —
26年2月期第2四半期	9 88	— —

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第2四半期	2,420	1,176	48.6
26年2月期	2,016	1,146	56.8

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 1,176百万円 26年2月期 1,146百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	— —	— —	— —	3 00	3 00
27年2月期	— —	— —	— —	— —	— —
27年2月期(予想)	— —	— —	— —	— —	— —

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成27年2月期の業績予想(平成26年3月1日~平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,478	△2.9	△43	—	△24	—	△31	—	△7 55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年2月期2Q	4,320,810株	26年2月期	4,320,810株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	218,585株	26年2月期	217,603株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年2月期2Q	4,102,884株	26年2月期2Q	4,106,060株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の事業環境、経済状況の変化等さまざまな要因により予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関しましては、2ページ「当四半期決算に関する定性的情報」(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和政策により円安が進行し、輸出企業を中心に景気回復の兆しが見られたものの、エネルギーコスト等の上昇や消費税率引き上等の影響により、依然として楽観できない状況が続いております。

国内食品業界におきましては、低価格化による販売競争の激化に加え、乳製品等の原材料価格が高騰し収益を圧迫する状況が続いております。また、当社の主力製品であるアイスクリーム販売については、長雨や冷夏等の天候不順が続き、販売が伸び悩む大変厳しい状況となりました。

このような状況のもと当社は、新たに策定した中期経営計画「Challenge For Next Century」に基づき、さらなる企業価値向上に向けて営業の強化、経営基盤の強化、業務の効率化・標準化、製品ブランド力の強化、コストダウン、人材の育成に積極的に取り組みました。また、お客様のニーズに対応した製品開発を行い、当事業年度は、夏季期間限定販売製品「ももえちゃん」のリニューアル販売をしたほか、新製品8品、既存品リニューアル3品を投入し販路の拡大を図りました。しかし、夏場の天候不順による影響を補うことができず当第2四半期累計期間の売上高は、2,330百万円（前年同期2,453百万円）となりました。

損益面については、新潟工場において生産性の向上を目的とした設備投資を行い製造ロスの低減を図るとともに、全社的にコスト低減に取り組み経費削減に努めました。しかし、夏場の天候不順により、自社製品の販売が伸び悩み、製造工場の稼働率が減少し収益を圧迫いたしました。また、佐渡工場で設備トラブルによる操業停止等があった結果、営業利益は33百万円（前年同期は53百万円）、経常利益は44百万円（前年同期は68百万円）、税引前四半期純利益は43百万円（前年同期は67百万円）、四半期純利益は34百万円（前年同期は40百万円）となりました。

なお、当社は夏季に集中して需要が発生するため、特に第2四半期会計期間の売上高は、他の四半期会計期間の売上高と比べ著しく高くなる傾向にあります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は前事業年度末に比べ404百万円増加し、2,420百万円となりました。資産の増減の主なものは、現金及び預金の増加額83百万円、受取手形及び売掛金の増加額476百万円、商品及び製品の減少額143百万円、建物（純額）の減少額20百万円、機械及び装置（純額）の増加額11百万円、投資有価証券の増加額13百万円等によるものであります。負債は前事業年度末に比べ374百万円増加し、1,243百万円となりました。これは主に買掛金の増加額154百万円、短期借入金の増加額150百万円、未払金の増加額17百万円、未払費用の増加額20百万円、未払消費税等の増加額23百万円等によるものであります。純資産は前事業年度末に比べ29百万円増加し、1,176百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加額22百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間における業績動向等を踏まえ、「平成26年2月期 決算短信（非連結）」（平成26年4月14日付）にて公表いたしました業績予想及び配当予想を修正いたします。詳細につきましては、本日公表の「第2四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」及び「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、2期連続の夏場の天候不順による主力製品(アイスクリーム等)の販売が伸び悩んだこと等により平成26年2月期に引き続き、平成27年2月期の業績予想についても営業損失を計上する見込みとなったことから、継続企業の前提に関する重要事象の存在を認識しております。

当社といたしましては、当該事象を早期に解消すべく、平成26年2月25日付で発表した新たな「中期経営計画 Challenge For Next Century」の下で、以下に示す課題への対処を的確に行う事により、当該状況が改善される見込みであること、及び今後の運用資金も十分に確保できていることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しており、継続企業の前提に関する注記は記載しておりません。

①自社製品の販売強化

営業体制および営業活動の見直しを図り、効果的な広告宣伝や販売促進活動により、販売エリアの拡大を図ってまいります。その一方で、採算性重視の営業活動に焦点を絞り、営業利益ベースでの管理を徹底することで、適切な利益を確保するよう努めます。

②生産性向上と合理化

全社員を挙げてコスト意識を共有化し徹底を図ると同時に、製販一体となった業務運営により、生産性の向上や合理化、品質改善を図り、製品競争力の強化を行います。また、不採算事業については、工場再編も視野に慎重に検討し、整理や統合を図り、利益体質の改善に向けた経営戦略の実現により、適切な利益を確保するよう努めます。

③製品ブランド力の強化

お客様のニーズを的確に捉え、季節変動や外的要因等に左右されず、低価格競争にさらされる事の無い、安心して安全なおいしく魅力ある「高付加価値」製品の提供と売上規模の拡大を推進していきます。具体的には、1年を通して販売できる乳脂肪分の高いアイスクリーム製品の開発に着手しており、当事業年度は、家族のニーズに対応したボリュームたっぷりのファミリータイプ「パルティー1ℓ バニラ・チョコ・いちご」の3品と、昔懐かしい味わいのバーアイス「ゆきっこあいす ミルク・あずき」の2品を投入いたしました。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	119,024	202,583
受取手形及び売掛金	222,288	699,062
商品及び製品	459,531	316,384
仕掛品	-	1,526
原材料	55,771	47,106
繰延税金資産	1,259	151
その他	6,568	12,628
貸倒引当金	△2,572	△7,856
流動資産合計	861,872	1,271,586
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	517,663	496,740
機械及び装置(純額)	179,121	190,738
土地	224,792	224,792
リース資産(純額)	24,468	16,159
その他(純額)	19,354	17,863
有形固定資産合計	965,401	946,294
無形固定資産		
リース資産	26,896	22,753
その他	3,399	6,936
無形固定資産合計	30,295	29,689
投資その他の資産		
投資有価証券	117,973	131,066
その他	41,884	43,364
貸倒引当金	△1,358	△1,257
投資その他の資産合計	158,499	173,173
固定資産合計	1,154,196	1,149,158
資産合計	2,016,068	2,420,744

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成26年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	170,751	325,355
短期借入金	400,000	550,000
リース債務	18,419	15,850
未払金	40,989	58,792
未払費用	29,196	49,236
未払法人税等	1,761	4,831
未払消費税等	7,392	31,196
賞与引当金	16,435	16,582
その他	5,783	12,160
流動負債合計	690,730	1,064,006
固定負債		
リース債務	35,548	24,780
繰延税金負債	18,886	27,747
退職給付引当金	102,122	104,250
役員退職慰労引当金	405	405
資産除去債務	17,006	17,008
その他	4,500	5,755
固定負債合計	178,468	179,946
負債合計	869,198	1,243,952
純資産の部		
株主資本		
資本金	216,040	216,040
資本剰余金	22,686	22,686
利益剰余金	916,560	938,655
自己株式	△48,592	△48,916
株主資本合計	1,106,694	1,128,465
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	40,175	48,326
評価・換算差額等合計	40,175	48,326
純資産合計	1,146,869	1,176,791
負債純資産合計	2,016,068	2,420,744

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

	(単位：千円)	
	前第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	2,453,069	2,330,126
売上原価	2,107,483	2,019,161
売上総利益	345,585	310,965
販売費及び一般管理費	291,944	277,934
営業利益	53,640	33,030
営業外収益		
受取利息	158	172
受取配当金	1,107	1,350
不動産賃貸料	7,032	7,082
受取手数料	1,689	1,313
助成金収入	4,101	-
雑収入	4,592	4,512
営業外収益合計	18,680	14,431
営業外費用		
支払利息	2,679	1,862
不動産賃貸費用	1,034	1,020
営業外費用合計	3,714	2,882
経常利益	68,607	44,579
特別利益		
損害賠償金収入	18,905	-
特別利益合計	18,905	-
特別損失		
固定資産除却損	1,579	366
たな卸資産廃棄損	18,923	-
減損損失	-	971
特別損失合計	20,502	1,337
税引前四半期純利益	67,009	43,241
法人税、住民税及び事業税	5,487	3,331
法人税等調整額	20,917	5,505
法人税等合計	26,405	8,837
四半期純利益	40,604	34,404

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	67,009	43,241
減価償却費	63,680	54,961
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△5,906	2,128
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,083	146
固定資産除却損	1,579	366
減損損失	-	971
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,442	5,183
受取利息及び受取配当金	△1,265	△1,523
支払利息	2,679	1,862
売上債権の増減額(△は増加)	△531,921	△476,774
たな卸資産の増減額(△は増加)	171,962	150,285
仕入債務の増減額(△は減少)	177,721	154,604
未払金の増減額(△は減少)	31,208	17,802
未払消費税等の増減額(△は減少)	14,034	23,804
未払費用の増減額(△は減少)	18,637	20,039
預り保証金の増減額(△は減少)	△300	-
差入保証金の増減額(△は増加)	△113	△122
その他	△1,200	2,576
小計	13,331	△443
利息及び配当金の受取額	1,265	1,523
利息の支払額	△2,679	△1,862
法人税等の支払額	△1,380	△1,648
法人税等の還付額	154	161
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,691	△2,270
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△68,454	△36,432
無形固定資産の取得による支出	△910	△4,000
投資有価証券の取得による支出	△474	△477
その他	△799	△2,311
投資活動によるキャッシュ・フロー	△70,638	△43,221
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	308,170	150,000
リース債務の返済による支出	△10,039	△8,866
配当金の支払額	△12,249	△11,759
その他	△477	△323
財務活動によるキャッシュ・フロー	285,403	129,050
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	225,455	83,558
現金及び現金同等物の期首残高	139,359	119,024
現金及び現金同等物の四半期末残高	364,815	202,583

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、冷凍食品製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。